

# 東京2020大会等武蔵野市実行委員会通信

発行／編集 武蔵野市総合政策部企画調整課  
オリンピック・パラリンピック担当

Vol. 3 平成 30 年 5 月 16 日

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会」の活動内容を共有するため、『東京 2020 大会等武蔵野市実行委員会通信』を発行しています。ご一読いただくと幸いです。

## 各分科会の活動報告

### ボランティア・市民活動・広報分科会

第 4 回会議 平成 30(2018)年 3 月 20 日(火)

■内容：平成 30 年度の活動内容について議論し、確認した。

#### 【結論】

以下の 6 つの取組みを、4 月以降、順次進めていくことが決定された。

#### ①スポーツボランティア

主に障害者スポーツを支えるボランティア。分科会各団体は、自団体の構成員に対して登録希望者を募集し、直接市担当に応募・登録する。市担当からは、登録者に対して障害者スポーツの大会等におけるボランティアについて随時募集する他、障害者スポーツボランティアに役立つ講習会などを行う。

#### ②ジュニア特派員

小・中・高の希望する児童・生徒によって、市内や都内で行われるオリンピック・パラリンピックに向けた取り組み等取材し、壁新聞等を作成する。

#### ③来街者歓迎しおり

子ども達や高校・大学の方の絵や書などをしおりのおもて面に印刷して配布する。裏面には歓迎のあいさつ（英語）と、「市の魅力再発見・発信事業」で公募した写真を掲載し、武蔵野市のスポット紹介を行う。ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 大会の際に、市を訪れた選手や駅等で来街者に配布する。

#### ④語学おもてなし講座

市民等が、外国人をおもてなしするための基礎的な知識を身につけるための講座を、年に数回実施する。

#### ⑤まちの紹介

詳細は未定であるが、来街者にまちの紹介を行う取組みを検討する。

#### ⑥「ボランティアの樹～わたしのチャレンジ」

桜まつり、青空市等のイベントでブースを設置し、2020 年にむけた抱負や目標を付箋に書いて、木の幹を描いたパネルに貼ってもらう取組み。

## 【主な意見】

- ・ 中学・高校としては、授業時間外の実施は難しい。授業中や夏休みの宿題としてならば可能だと思う。
- ・ しおりに QR コードをつけてはどうか。しおりの絵柄が何種類かあるなら、QR コードを読み取って見られる動画も何種類かあればいいのでは。
- ・ しおりについて、「あなたの家の周りの風景」等、テーマをきめて描くと取組みやすいのでは。
- ・ 市のスポーツボランティア、組織委員会の大会ボランティア・都市ボランティアで、違いが分かりやすい形で募集をすることが重要だと思う。楽しさ、やりがいを打ち出していないと、他のボランティアに人員をとられてしまうのではないか。
- ・ 具体的な活動のイメージがつかめた。これらを来年度スタートさせられると良い。

## スポーツ・健康分科会

### 第 4 回会議 平成 30(2018)年 1 月 26 日 (金)

- 内容：引き続き、分科会での今後の取り組みについて、①武蔵野市内のスポーツ団体の PR 策（団体の PR 動画を市 HP や FB で紹介していく）、②運動習慣定着化へ向けた取り組み（運動習慣の定着につながるような講習や教室、プログラムについて連携し、周知していく）、③障害者スポーツの普及に向けた取り組み（パラ競技のボッチャを自ら体験し、大会を開催する）、の 3 つの案について意見交換を行った。

## 【主な意見】

### ①武蔵野市内のスポーツ団体の PR 策（動画）

- ・ iPad やスマートフォンで撮影することや観ることを想定したほうがよい。
- ・ 撮影の方法やルールを決める必要がある。
- ・ 「情報」よりも「楽しい」イメージや、スポーツの良さを届けたい。

### ②運動習慣定着化へ向けた取り組み

- ・ オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップに向けて、やや盛り上がり欠けている印象。
- ・ イベントをチームとして取り組む必要がある。「共感」のために何をやっていくかが重要。
- ・ 学生を活用することにより興味を持つようになる。
- ・ 各団体の得意な分野で、強みや個性を発揮していきたい。
- ・ 実施内容の詳細（広報の協力、参加費、材料費、講師謝礼、保険の適用など）を明記されたい。

### ③障害者スポーツの普及に向けた取り組み

- ・ 大学でボッチャ体験会を実施した際に、実際にパラ競技であるボッチャを体験してみて分かったこととして、性別・年齢・障害の有無に関わらずできること、チームに会話が生まれること・協力しあうこと、頭を使うのでチームビルディングに使えること、などの感想が学生から挙げられた。
- ・ 体験することで、観る楽しさを醸成できる。観るときの意識が変わる。

## 文化・交流分科会

文化・交流分科会主催 講演会 平成 30(2018)年 2月 18日 (日)

東京 2020 オリ・パラ大会開催まであと 2年半と迫った中で、「スポーツの祭典」とともに「文化の祭典」とも言われるこの大会に向けて、武蔵野市がどのような文化を発信し、また享受することが出来るのかについて、考えるきっかけとなる会になった。

■場所：市役所西棟 8階 811 会議室

■来場者数：50 名

■内容：東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたシンポジウム



「文化オリンピックで地域の活力創出を」～ 武蔵野市で私たちができること～

・基調講演 1 (40 分)

「ロンドン 2012 大会の文化プログラムの実践例から地域の活力創出を考える」

講師：ニッセイ基礎研究所 社会研究部研究理事 吉本光宏氏

・基調講演 2 (40 分)

「文化事業と地域づくりについて」

講師：アタマトテインターナショナル代表 榎本了壹氏

・対談 (30 分)

「武蔵野市における文化プログラムを考える」

パネラー：基調講演講師 2 名 + スポーツライター 高樹ミナ氏

## 観光・産業・交通（輸送）分科会

第 4 回会議 平成 30(2018)年 2月 9日 (金)

■内容：

### ①ムーバスのナンバープレートについて

第 3 回分科会で承認された、ムーバスのオリパラナンバープレートの取付けについて、各バス事業者から進捗状況の報告があった。

- ・ 関東バス(株)：2月9日までに12台中7台交換、今年度中に全て交換を終える。
- ・ 小田急バス(株)：2月9日までに7台中5台交換、2月13日に1台、3月後半で全て取付けを終える。

### ②民泊について

産業労働局「住宅宿泊事業の実施運営に関するガイドラインへのご意見を募集します」を基に概要説明した。平成 30 年 6 月 15 日から住宅宿泊事業法が施行され、3月15日から届出の受付が開始される。都ではガイドラインの制定を予定しており、都では、ガイドラインにより国の要領の明確化や制度に実効性を持たせるため都独自の規定を設け、民泊事業を行うに当たり、かなりハードルの高い規制を掛けている。市としては、現段階では民泊を積極的に推進す

る体制は取らず、様子を見ながら対応していく。

### ③井の頭公園西園のパブリックビューイングについて

2月10日（土）から12日（月・祝）まで井の頭恩賜公園西園で、平昌オリンピックのパブリックビューイングやトークショー等が開催される。井の頭恩賜公園西園は、東京オリパラのパブリックビューイング等を行う「祝祭広場」として、多摩地域で唯一の候補地になっており、今回のイベントがうまくいけば「祝祭広場」となる可能性がより高まる。

#### 【主な意見】

- ・ 大きなスーツケースを持った外国人旅行客が多く、まち案内所では常に外国人がコインロッカーの場所を聞きに来ている。コインロッカーだけでなく、店で荷物を預けられるような仕組みを検討してはどうか。
- ・ 多くの人の目につく場所へのカウントダウンボードの設置や、オリパラをより身近に感じてもらえるような動画コンテストの開催等について、意見や提案があれば、次回発表いただきたい。
- ・ 観光委員会では、パブリックビューイングのように大画面で競技が観戦できる店や、外国人対応に積極的に取り組む等、オリパラを盛り上げてくれそうな店の場所がわかるマップを作ってはどうかとの意見があり、吉祥寺、三鷹、武蔵境のマップを作りたいと考えている。
- ・ 味の素スタジアムへの交通手段として、京王線だけでなく中央線も利用してもらうため、何か対策を取っていければと考えている。
- ・ 多言語対応として、インターネットから見られる外国人向けのサイトがある。中国人向けサイトでは、外国人を積極的に歓迎する店を独自に取材してもらい、他の店と差別化する等サイトのブラッシュアップを図っている。
- ・ 平成29年の年間訪日外国人は、東京都が約1,310万人、全国では約2,900万人で約20%の伸びとなった。大阪や京都では、インバウンド対応の効果が出過ぎ、外国人旅行客が大勢来て日本人旅行客が押し出されるほどだが、武蔵野市はそれほど伸びていない。インバウンド対応について、方法を含めて地域ごとに見直す必要があるのではないか。
- ・ 武蔵境を中心にアニメコンテンツでのまちおこしを計画している。4月28日に1回目の大きなイベントに向けて、「SHIROBAKO」の担当者と折衝中。
- ・ 吉祥寺の大型店とアニメを関連付けられないか検討中で、参考として近々に秋葉原に視察に行く。

**【事務局】** 武蔵野市総合政策部企画調整課（オリンピック・パラリンピック担当） 宮本・谷藤  
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1970（直通）FAX 0422-51-5638  
メールアドレス SEC-OLYPARA@city.musashino.lg.jp